

茨城県オリジナルメロン

イバラキング 20年ものがたり

上品な香りと甘さ

なめらかな口あたり

日持ちの良さ

日本一のメロン産地茨城県から

極上のメロンイバラキングが誕生しました



茨城県農業総合センター

平成28年

ご存知ですか？イバラキング



茨城の王様

その名の通り茨城県生まれのオリジナルメロン。

20年という長い歳月をかけ、約4万個体から選び抜いた母親メロンと約400通り以上の父親との組み合わせから選ばれました。

大きい

寒い時期でも大きく育つ「イバラキング」。

通常メロンより1割以上大きく、たっぷり味わえます。

上品、なめらか

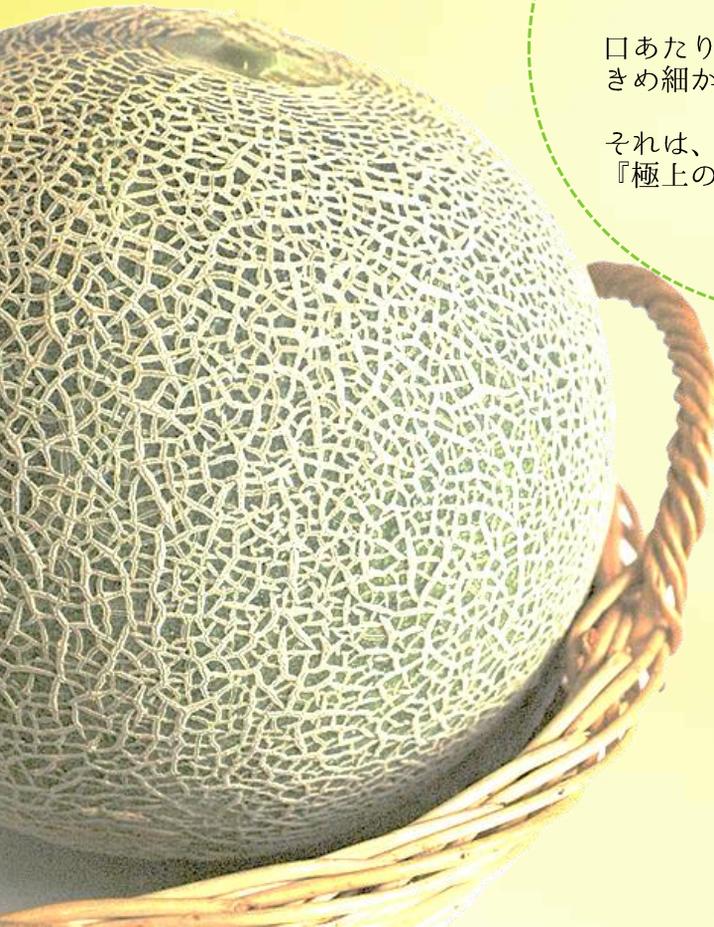
上品な香りと甘さ。

口あたりなめらか、きめ細かくジューシーな果肉。

それは、『極上のメロン』の条件です。

日持ちの良さ

日持ちが良く、おいしく食べられる期間が長いとっても嬉しいメロンです。



イバラキングが生まれるまで



1. メロンの歴史



世界のユニークなメロンの仲間

メロンのふるさとはどこか知っていますか？

メロンのふるさとにはアフリカと考えられています。その後、ヨーロッパや中近東、アジアなど世界各地に広まりました。

世界には、みなさんが知っているメロンの仲間とは思えないような、蛇のように長い形やカボチャのような形、甘酸っぱい味がするものなど、ユニークなメロンがたくさんあります。

弥生時代から食べられていたメロン

日本では、弥生時代の遺跡からマクワウリの種が見つかっており、古くからメロンが食べられていたことがわかっています。

現在の主流であるネットメロンは、明治以降にヨーロッパからアールスメロンが伝わったことから栽培が始まりました。



マクワウリ

アールスメロン

2. 茨城県でのメロン栽培のはじまり

昭和30年代に、日本の風土での栽培に適したマクワウリからプリンスメロンが開発されました。

茨城はメロンの生産に適した豊かな土、水、気候が揃っていたことから、プリンスメロンの栽培をかわきりに、主に鹿行、県西地域でメロン作りが盛んになっていきました。

現在では、プリンスメロンのほかにもオトメメロン、アンデスメロン、クインシーメロン、タカミメロン、アールスメロン、イバラキングなどが栽培されています。



プリンスメロン



アンデスメロン



クインシーメロン

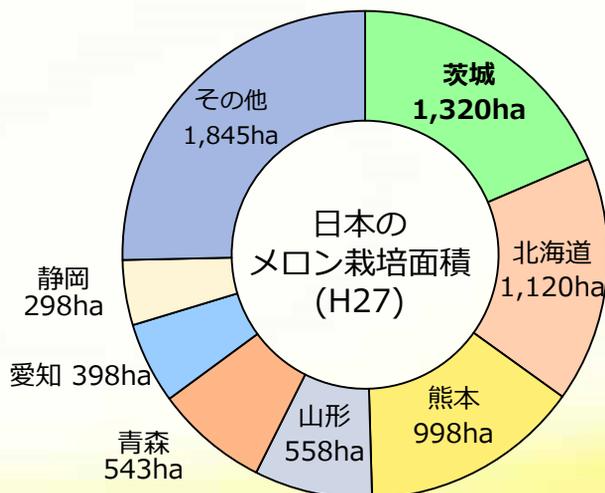
春から秋にかけて、茨城からさまざまなおいしいメロンをお届けしています。

3. 茨城県、実は日本一のメロン産地



茨城県は出荷量日本一を誇る、メロンの大産地です。

栽培面積でも日本一を誇ります。



※農林水産省平成27年野菜生産出荷統計

4. 茨城県オリジナルメロン開発までのみちのり

このように茨城県では、アンデスメロン、クインシーメロンなど、さまざまな種類のメロンを生産していますが日本一の産地であることはあまり知られていません。

そこで、他の産地では作られていないみんなに愛される「茨城の顔」「茨城の王様」となるようなオリジナルメロンを作ろうと、新しい品種の開発に取り組みました。

王様となるメロンを作り出すために、両親の候補としてさまざまなメロンを集めました。

- 大きいメロン
- 見た目がきれいなメロン
- 甘いメロン
- 香りのよいメロン

けれど、どれも完璧ではありません。



メロンの種の培養

研究所では、大きいメロンと甘いメロンをかけ合わせたり、香りのよいメロンと見た目がきれいなメロンをかけ合わせたりして、両親の良いところを併せ持ったメロンを選びました。

さらにそれらのメロンを栽培し、よいメロンを選ぶという作業を何年も何年もかけて行い、ようやく「イバラキング」の父親、母親の候補ができました。

ここまでおよそ15年の歳月が必要でした。



培養したメロン

5. イバラキング誕生！

「イバラキング」は、ヨーロッパのアールス系メロンを父親にしています。この親は、なめらかな口当たりと芳醇な香りを持っています。一方、母親は茨城県の気候風土での生育に適し、甘みが強く、果実が大きくなるアンデス系メロンです。

両親の長所を持った「イバラキング」は、上品な香りとなめらかな口当たり、そして豊かな甘みと上品な味が特徴です。

たくさんの父親母親候補を選び、400通り以上の親のかけ合わせの中から5年以上かけてベストカップルが誕生しました。

Mom

茨城出身のママ

- * 甘い
- * 大きい



Dad

ヨーロッパ出身のパパ

- * 上品な香り
- * なめらか
- * 日持ちが良い

IbaraKing

メロン王国茨城の王様になってほしいという願いをこめて名づけました。



- * 大きい
- * 上品な香りと甘さ
- * なめらか
- * 日持ちが良い

おいしいイバラキングをみなさまへ



徹底した栽培管理と品質管理



現地における栽培試験の実施

おいしいイバラキングを作るために

茨城県では「イバラキング」に最も適した栽培方法を研究しました。これに農家長年培ってきた技術と熱意が加わり、安定した品質のメロンが収穫できるようになりました。

おいしいイバラキングをお届けするために

講習会、目揃い会、反省会などを行い、栽培技術の向上を図っています。また、東京市場や百貨店との意見交換を行い、出荷品質の向上に努めています。



栽培講習会

おいしいイバラキングのPR

5月～6月を「いばらき“ハッピー・メロン・シーズン”」として、様々なイベントを実施しています。



イベントの様子

研究者と農家さん



普段は聞けないディープな話

農業総合センター園芸研究所 宮城さん

県の研究所では平成2年ごろから新しいメロンの育種をはじめ、平成10年に「メイスター」という品種ができました。しかし「メイスター」は美味しいけれど栽培が難しく、農家への普及に失敗してしまいました。

その頃私はメロンの育種チームに加わることになり、この困難を乗り越えようという使命感を感じて新しい品種の育成に取り組みました。

そこで今まで育成された系統を調査しましたが、これまでの親系統だけでは満足なものができなかったため、新しい親系統を育成しました。たくさんの組み合わせについて、食味、大きさ、作りやすさなど多くの項目を調査し選抜を繰り返しました。

そのような中から、大玉で食味が良く栽培のしやすい「イバラキング」を育成することができました。



鉾田市 メロン農家の根崎さん

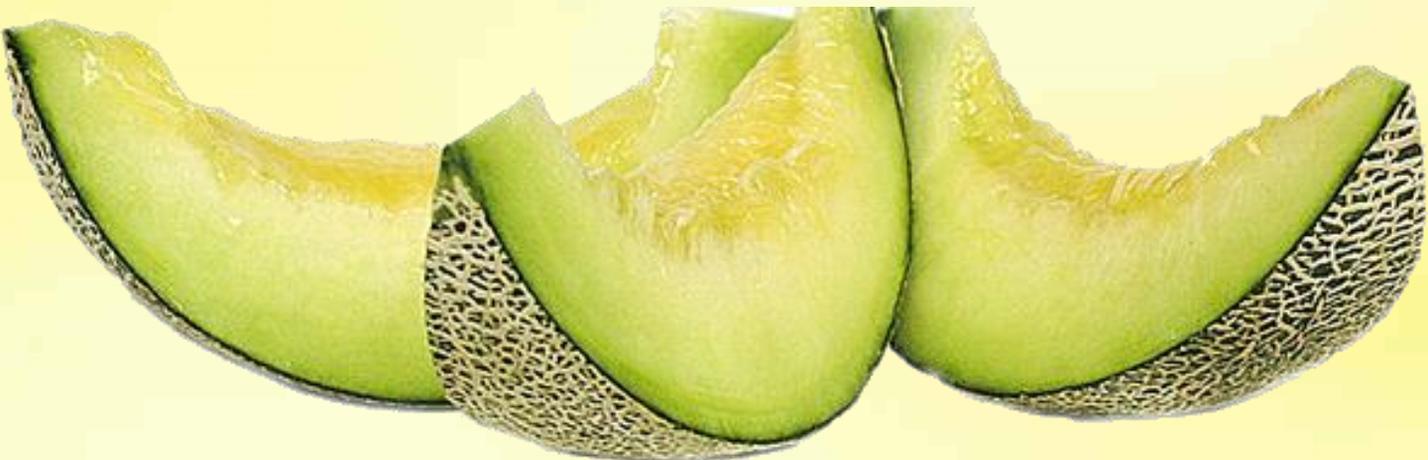


私は、まだ番号しかついていなかった、のちの「イバラキング」の試験栽培に取り組みました。その頃、メロンの早い時期に栽培しても大玉になる品種を探していたからです。

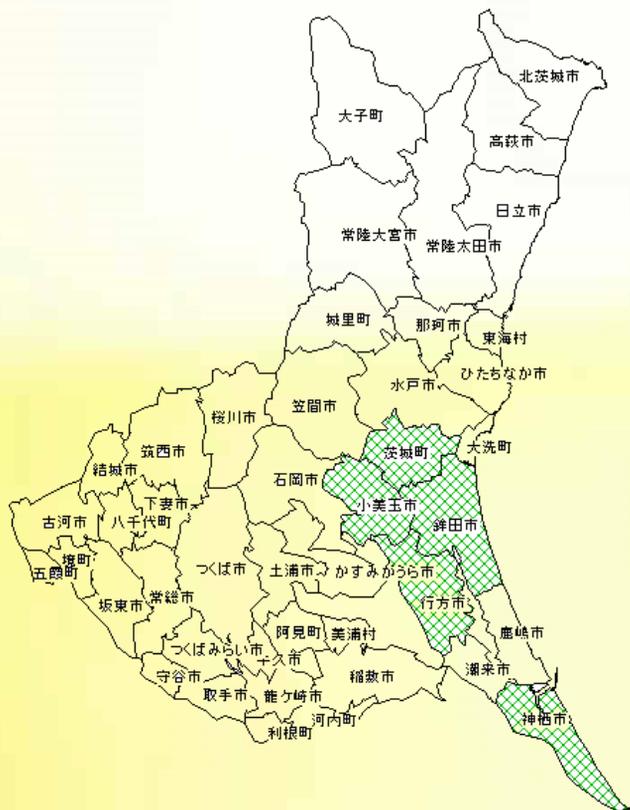
当時はどう栽培していいのか分からず、手探りの中で試行錯誤の繰り返しでした。しかし、この品種は果実肥大性があり、食味が良いということで期待をふくらませながら栽培を続けました。ようやくどのように栽培すれば良いものができるか分かってきたところです。

今では2~3粒の試験栽培から始まった品種が、当時は考えられないくらいに広まったと言うことに感慨深いものがあります。

作る人、食べる人に良さを分かってもらえたことが嬉しいです。消費者から良い評価を受けると、自分でもさらに良いメロンをつくらうと励みになります。



イバラキングを食べてみませんか



茨城県のココが産地です

*イバラキングは主に鉾田市、茨城町で栽培されています。

イバラキングの出荷時期



ココで買えます

● 県内スーパーマーケット

カスミ、セイブ、イオン などの各店

● 県内直売所

ファーマーズマーケットなだらう
ポケットファームときどき（茨城町店、つくば牛久店）
など

